

3. まちの将来像とコンセプトイメージ

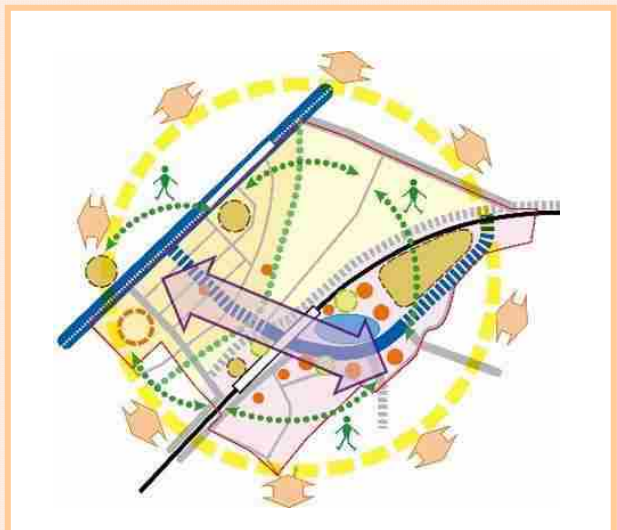
課題等を踏まえ、守口都市核周辺のまちの将来像を以下のように設定します。なお、そのコンセプトイメージは次ページに示すとおりです。

また、その将来像及びコンセプトイメージに基づく、「守口の新しいライフスタイル・シーン」をP.8～13に示します。

■まちの将来像

新しい都市イメージにつながる 日常の賑わい・交流のある守口都市核づくり ～人と施設 施設とまちをつなぎ、周辺に拡がる 新しい守口都市核～

- ①守口都市核周辺の新しい都市イメージを創出すべく、市の玄関口としての佇まいや風格をつくります。
- ②だれもが「使いやすい」空間の整備活用を促進し、各々が楽しめ、憩え、集え、通いたいと思える場所をつくります。
- ③地域の特性を活かし、親しみやすい“ヒューマンスケール”の賑わいや交流のあるまちづくりを目指します。
- ④地域資源を活用し、守口の個性を育て、訪れた人が魅力を体験でき、住む人が愛着を感じられるまちを目指します。
- ⑤様々な人との交流が自然と発生し、単体では生まれない様々な価値が体験できるような都市ならではの魅力的空間を創出します。
- ⑥各施設での賑わいや活動を拡げ、それらをつなぐことで、まち全体として、さらなる賑わいや人の流れ（回遊性）をつくり、そして、それをさらに拡げ、周辺、ひいては市域全体に波及させます。



■コンセプトイメージ

歴史・文化 と 賑わい・交流 の“ミルフィーユ” ～もりぐち 重奏（重層）都市構想～

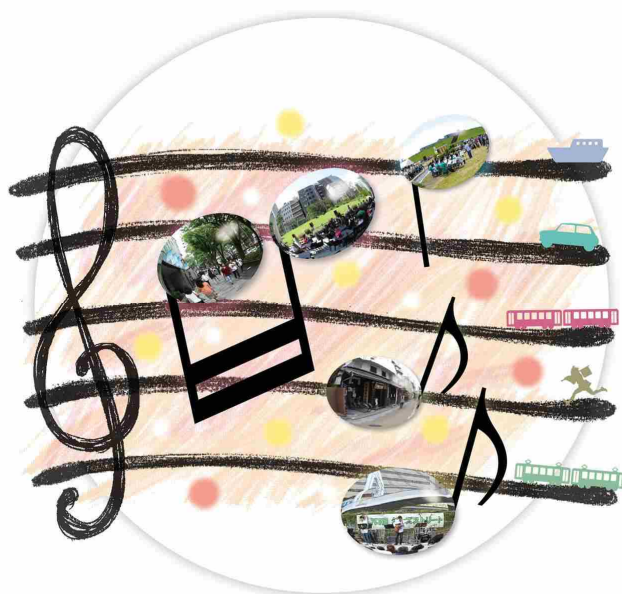
守口都市核周辺は、文禄堤（京街道）、国道1号、京阪本線、地下鉄などの新旧（歴史・文化）の動線が行き交い、その中に、時代の変遷とともに、公共施設や都市基盤の整備、駅前再開発などが次々と進み、さらに、今後、シンボルロードが整備され、旧市役所跡地や市民会館跡地などが活用されていきます。

すなわち、淀川を含め、文禄堤、京阪電鉄、国道1号、地下鉄など、これまで重層的に築きあげてきた、いわば、

「守口の歴史・文化の層の中に、新しい交流・賑わいの具（コンテンツ）を 挟み込んでいく…」

本ビジョンでは、そんなイメージを、『ミルフィーユ』に見立てて、都市核周辺のまちづくりイメージを共有し、歴史・文化の層と、新しい交流・賑わいの要素が折り重なることで、さらなる魅力を生み出していきます。

今後は、こうした、いわばミルフィーユの要素（コンテンツ）にさらに磨きをかけ、それぞれを重奏的に関連させながら、魅力的な『守口の新しいライフスタイル像』を次々に生み出し、周辺に拡げていきます。



守口の新しいライフスタイル

シーン 1

交流 Communication

●家族や仲間と交流する

- ・家族や仲間と集まって、
買い物したり、食事をしたり、
いつものように、守ロライフを満喫します。



●好きな人とデートする

- ・オシャレなお店を探したり、
カフェに立ち寄り話したり、
歩いて楽しいまちなかで、2人の時間を楽しみます。



●知らない人とも交流する

- ・いつもどこかでイベントが、
あちらこちらで開かれて、知らずと周りに誘われて、
気付けば自分も参加者です。



守口の新しいライフスタイル

シーン 2

利便 Convenience

●何でもそろって買い物にも便利

- ・百貨店やスーパーなど
買い物に便利な店舗がたくさんあり、
便利で快適な「都心居住」を楽しめます。



●子育て支援施設が身近に利用できる

- ・子育て支援施設も充実し、
安心して子どもを預けることができ、子育て世代も
安心して仕事をしたり、お出かけしたりもできます。



●医療福祉施設も充実し便利で安心

- ・病院や介護施設なども充実し、
歩きやすい道も整備され、移動手段も確保され、
アクセスもしやすく、誰でも安心して暮らせます。



守口の新しいライフスタイル

シーン 3

憩い Comfort

●まちなかの休憩スポットで憩う

- ・まちなかには、ちょっとした休憩スポットがたくさんあり、座ったり、休んだり、しゃべったり、そんな憩いの空間には、自然と人が集まって、時間も忘れて語ります。



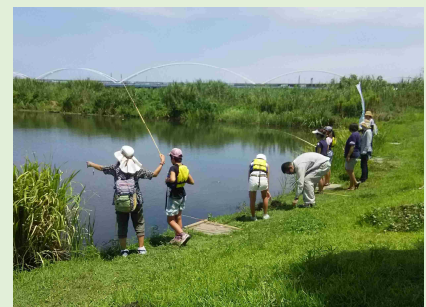
●オシャレで快適シンボルロードで憩う

- ・オシャレなお店が並ぶストリートは、きれいに歩道が整備され、緑も多く快適な、“都会”の雰囲気を楽しめます。



●公園緑地で憩う

- ・周辺には、淀川河川公園や大枝公園など大きな公園もあります。スポーツをするもよし、のんびりするのもし、家族や仲間と思い思いに過ごせます。



守口の新しいライフスタイル

シーン 4

活動 Culture activity

●まちなかでみんなで楽しく活動する

- ・駅前広場はもちろん、まちかどでも歌ったり、お店を出したり、いろんな人が連携協力することで、楽しい活動がたくさん生まれます。そこには、自然と人が集まります。



●施設を利用して活動する

- ・ホールや体育館、コミュニティセンターを利用して、“晴れの舞台”に立って、多くのギャラリーを集め、自分たちの活動を楽しんだり、発表したりします。



●歴史文化と触れ合いながら活動する

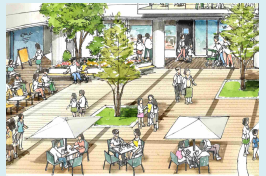
- ・堤を登ると、古いお家、オシャレなカフェが点在し、落ち着いた風景に出会えます。まちを訪れた人も、住む人もそれぞれに、歴史文化と触れ合います。





新しいライフスタイルの例①

駅前暮らし始めた若い子育て世帯の1日

時間	場所	活動	イメージ
7:00	自宅	朝起きて、カーテンを開けると川の流れて見えて、淀川が近いことに気づく。	
8:30	自宅	パパ、ママ、娘で3人そろって出発。 パパは、自転車で娘を保育所まで送って、梅田の職場へ出勤。ママは駅前の職場へ徒歩で出勤	
12:00	駅前	お昼は、職場の友人と駅前でランチタイム。	
17:00	駅周辺	ママは娘のお迎えに。ペットとお散歩中のご近所さんに挨拶する。	
17:30	駅前	2人で百貨店に寄って、パパの誕生日プレゼントのネクタイを買う。	
18:00	駅周辺	パパ、ママ、娘が合流し、今日は近くのイタリアンでピッツアを食べる。 お店の人みんなでパパの誕生日をお祝いする。	
20:00	まちなか	歩道が整備され、家族3人でも歩きやすく快適。 まちかどでプチライブに遭遇し、思わず一緒に歌ってしまう。	
21:00	自宅	便利で快適、楽しみと交流がある都市ならではの暮らしを満喫し、3人揃って帰宅する。	



新しいライフスタイルの例②

短期出張で守口に滞在したサラリーマンの休日

時間	場所	活動	イメージ
10:00	ホテル	朝賑やかなかけ声で目が覚めると、駅前で盛大にイベントが開催されていて驚く。	
12:00	駅周辺	ホテルに、百貨店、地元のお店と、守口は食べるところがたくさんあって、いつも迷ってしまいます。	
13:30	駅周辺	食後の運動もかねてレンタサイクルを借りて、もりぐちを散策	
14:00	文禄堤沿い	堤を上ると、落ち着いたまちなみが現れる。ホテルで見かけた外国人観光客がマップをもってまちを歩いていたので、挨拶をする。	
14:30	文禄堤沿い	沿道にはおしゃれなカフェもあり、すぐに休憩をしてしまう。お店の人にきくと、守口が東海道57番目の宿場だと聞き、情緒を感じる。	
15:30	緑道公園	幹線道路を越えると桜のきれいな並木道が現れ、つい引き込まれると自然と大きな川までたどりつく。	
18:00	駅前	駅前に戻ると、ホールでは地元学校が吹奏楽の演奏会をしているようだ。	
19:00	ホテル	夕食のため、まちに繰り出すと魅力的な飲み屋をたくさん発見、ついつい3軒もいってしまい、帰るともう朝方。明日も休みでよかった。明日は京阪電車で京都観光にいこうかな・・・	